

### 住情報の提供と居住地魅力情報の発信

住まい情報センターは住むまち・大阪に対する愛着とイメージアップをはかり、都市居住を促進するため、住宅や住まいに関する相談業務や、大阪市の住宅施策に関する情報、各種住宅の空室情報など、住宅に関する各種情報の集約化による市民サービスの向上をはかるとともに、「住まいと暮らし」をテーマとする様々な人々の出会い・学習・楽しみ場として整備されたものであり、全国に先駆けて開設された施設である。

(利用実績) 17年度：349,247件 18年度：381,480件

#### ○ 相談・情報提供

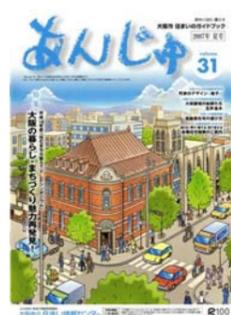
住まいの購入や暮らし及び大阪市の住宅施策についての一般的・基礎的な問題や内容に関する相談に職員が常時、面接または電話により対応している。また、都市再生機構と(社)大阪府宅地建物取引業協会の窓口を設置し、都市機構住宅や民間住宅の情報の入手も可能なものとしている。



#### ○ 普及・啓発

市民の方々が、よりよい住まいづくりや暮らしの実現に向け、住まいに関する情報や知識を自発的・積極的に広く入手できる機会を提供するため、さまざまなテーマでセミナー・講演会・シンポジウム等を開催している。

また、住まいのライブラリーにおいて、ライブラリーボランティアと協働し、住まいと暮らしに関する図書等の配架・貸し出しを行っている。



#### ○ 情報発信

住むまち大阪のイメージアップを図るため、大阪の住まいと暮らしをテーマとした「大阪くらしの今昔館」における展示事業や、住まいに関する様々な情報を掲載した広報誌「あんにゅ」の発行を行うとともに、ウェブサイト「おおさか・あんにゅ・ネット」を開設(16年度)し、住むまち大阪の魅力情報を発信している。

#### ○ 住まいネットワーク

住まい・まちづくりに取り組む専門家団体や NPO 等との連携・交流を促進する「住まいネットワーク」を18年度に創設し、各団体のノウハウの活かした相談や情報提供、魅力情報の発信の充実を図っている。

(参加団体・個人)

まちづくり団体：35 団体、専門家団体：21 団体、研究者・実務者：19 名

(18 年度の取り組み)

##### ・パネル展の開催

住まい・まちづくりに取り組む専門家団体や NPO 等の活動を紹介するパネル展「大阪暮らしが楽しくなる『我がまちのまちづくり展』」を開催(62 団体が参加)。住まい情報センターの他、他のイベントと連携して、中央公会堂や御堂筋沿いのオフィスビルでも開催。



##### ・タイアップセミナー・相談会の開催

専門家団体等と連携したセミナーや個別相談会を実施し、情報発信や相談対応を充実。

(実績)「住まいの健康を考える」: NPO 法人 住宅長期保証支援センター  
「近づく大地震にあなたの住まいは大丈夫か」

: NPO 法人 日本住宅管理協会

「高齢者住宅の選び方」: 高齢者住宅情報センター



##### ・タイアップイベントの開催

まちづくり団体や NPO 等と連携したタイアップイベントを実施し、居住地魅力の情報発信を充実。

(実績)「松屋町 春の陣〜歩く五月人形〜」: 松屋町スタイル研究会



### 大阪くらしの今昔館

大阪くらしの今昔館は、大阪の都市居住文化の継承・振興や、「住むまち・大阪」に対する愛着とイメージアップを図ることを目的に開設。



9階常設展示 なにわ町家の歳時記

常設展示では、江戸時代天保期(1830年代)の大阪の町家と町並みを、専門家による時代的考証のもとに、伝統的工法を用いて実物大で復元し、大阪の住まいの歴史、文化の魅力情報を発信している。

町家の座敷では、上方落語、琴、茶会など、大阪の町家で育まれた生活文化を体験できる様々なイベントを開催するとともに、企画展示室では、「住まいと暮らし」をキーワードに様々な企画展示を行い、「住むまち・大阪」の住文化に関する情報発信・イメージアップを図っている。

(入館者数) 17年度：142,980人 18年度：156,230人

#### ・市民ボランティア「町家衆」との協働

市民ボランティアである「町家衆」が、江戸時代の町家を案内する「町家ツアー」や、のぞきからくり、紙芝居、南京玉すだれの実演など、来館者に当時のまちの様子や暮らしぶりを実感していただくために、様々な活動を行っている。



のぞきからくり

17年3月には、「町家衆」が芸員の助言を受けながら、企画や資料の収集を行い、天満の歴史を語る「天満展」を開催し、天満周辺の方々をはじめ、多くの市民が親しみを持って観覧した。



天満展

#### ・体験学習等

都市居住文化の継承、振興を図るため、小中学生を対象に江戸時代の暮らしを体感する「ろうそくと行灯のあかり」や、当時の生活道具を用いた実演などの体験学習を実施している。

高校生、大学生に対しては、継手、仕口など伝統的建築技術や床の間の構造など、建築、歴史、民俗、美術工芸について、体験学習を実施している。



小学生 体験学習

また、高齢者の認知症進行防止・改善方法のひとつである「回想法」の研究にミュージアムの生活空間を利用し、都市の伝統的生活文化の認知症進行防止・改善への効果などについて、大阪市立大学等と共同研究を行った。